

2026 年 10 月 29 日
NOK Group 株式会社

NOK 九州、熊本の地下水を育む「水田オーナー制度」の稲刈りを実施 収穫したお米は子ども食堂等へ寄付し、地下水保全と地域の食支援に貢献

NOK 株式会社（本社：東京都港区、代表取締役 社長執行役員 CEO：折田 純一、以下「NOK」）のグループ会社である NOK 九州株式会社（以下「NOK 九州」）は、熊本の地下水保全活動の一環として、公益財団法人 くまもと地下水財団が実施する「水田オーナー制度」に 2019 年から 8 年連続で参画し、地域の貴重な地下水を守る活動に取り組んでいます。10 月 10 日（土）に NOK 九州の社員とその家族計 39 人が、オーナーである熊本県菊池郡大津町の水田で、地域の生産者の皆様と共に稲刈りを行い、6 月に植えた稲を収穫しました。



2026 年度「水田オーナー制度」稲刈りの参加者

くまもと地下水財団による「水田オーナー制度」は、地下水かん養域※1に水田を持つ生産者と、オーナー協定を結ぶ企業・団体が共に米作りに取り組むことで、水田に貯めた水が地下に浸透し、地下水のかん養を促進する制度です。

製造過程で熊本の豊かな地下水を使用している NOK 九州の阿蘇地域 4 拠点（熊本工場、阿蘇西工場、阿蘇北工場、阿蘇東工場）は、地域の貴重な水資源を守るため、保全活動に取り組んでいます。NOK 九州は、NOK 熊本事業場時代から続く同制度への参画を引き継いでいます。収穫したお米の一部は熊本市のフードバンクと熊本ヴォルターズが主催する子ども食堂（ヴォルターズキッチン）に寄付し、地域の食支援に活用する予定です。

稲刈りを体験

6月に泥だらけになりながら植えた小さな苗は、地域の生産者の皆様の丁寧な管理のもと、夏の厳しい暑さを乗り越えて立派に成長しました。当日は、黄金色に色づいた稲を前に、参加者たちが協力して鎌を使った手刈りなどを行い、収穫の喜びと自然の恵みを肌で感じる機会となりました。

開会式では、くまもと地下水財団の担当者が挨拶を行い、地下水保全の大切さや水田が果たす役割を説明しました。8年連続で参加する参加者に感謝の言葉を述べ、「田んぼは米づくりの間、常に水を溜めているため、畑のように雨が降ったときだけでなく絶えず地下に水を浸透させ、たくさんの地下水を育んでいる。」との説明がありました。



稲刈りの様子

参加者のコメント

・NOK九州 業務部 猪嶋 健作

「鎌や刃物を使っの作業は危ない」という意識からか、日常で自宅や学校生活ではなかなかこういう作業が出来なくなってきたので、非常に貴重な体験ができました。美味しいお米を継続して食べたいのでこれからももっと貢献できることを探したいです。

・NOK 精密・Oリング事業部 製品開発部 佐藤 徳朗

鎌を使った稲刈りは思った以上に体力を使い、短い時間でもお米作りの手間と苦勞を身をもって体験することができました。普段食べているお米への感謝の気持ちがより一層深まりました。温かくサポートしてくださり、本当にありがとうございました。

・NOK九州 品質管理部 藤岡 勇次

実際に鎌を使って稲を刈ることで、手作業の大変さを実感するとともに、刈取機による作業の速さにも驚きました。また、こうした水田が多く地下水を育むことを知り、地下水保全に果たす役割の大きさを改めて感じました。

・NOK九州 業務部 坂梨 礼奈

小学校以来の稲刈りも興味深く参加させていただきました。指導してくださる農家の方の近くにいたので、アドバイスをたくさんいただき勉強になりました。刈り残しや、落ちている穂も探して脱穀機にかけるなど、一粒も無駄にしないという意識に心を打たれました。短い時間でしたが、鎌で刈るのは体力的に大変なお仕事だと思いました。

くまもと地下水財団「水田オーナー制度」 NOK九州が参加した稲刈りの概要

- ・開催日 : 2026 年 10 月 10 日 (土)
- ・場 所 : 熊本県菊池郡大津町真木地区の水田
- ・参加者 : NOK九州の社員とその家族、計 39 人

くまもと地下水財団「水田オーナー制度」について

熊本市含めた熊本県の 11 市町村※2 (以下「熊本地域」) は、水道水源のほぼ 100%を地下水でまかなう全国でも稀な地域です。その地下水を保全するため、2012 年にくまもと地下水財団が設立されました。くまもと地下水財団は、水を大切に思う『想水』の考え方の下、熊本地域一体となった地下水量を守り、水質を維持する活動を行っています。その象徴的な取り組みの一つが、「水田オーナー制度」です。

- ・事業主体：公益財団法人 くまもと地下水財団
- ・内 容：米作りを通じて水田と地下水の保全に参加する取り組みです。企業や団体がオーナーとして協賛し、田植えや収穫に参加します。収穫後は、栽培面積に応じたお米と、米作りにより育まれた地下水の量を示す「かん養量証明書」が渡されます。

※1 かん養：雨水などが土中に浸透し帯水層に地下水として蓄えられること。

かん養域：田畑や森林などの水が浸透しやすい土地のこと。

※2 熊本市、菊池市 (旧泗水町・旧旭志村)、宇土市、合志市、大津町、菊陽町、西原村、御船町、嘉島町、益城町、甲佐町の 11 市町村の区域

■ NOK九州株式会社 概要

- ・本社所在地：熊本県阿蘇市永草 2089
- ・設立：2026 年 4 月 1 日
- ・従業員数：2,131 名
- ・統合した組織・会社：NOK 株式会社 精密・O リング事業部 製造部門・間接部門 (一部)、佐賀 NOK 株式会社、NOK エラストマー株式会社、阿蘇 NOK 株式会社、玖珠 NOK 株式会社、熊本 NOK 株式会社、日南 NOK 株式会社

■ NOK 株式会社について

NOK 株式会社は、9 の国と地域に所在する約 19,000 人で、積み重ねた基礎研究に基づく製品開発、高品質での大量・安定生産を実現しています。自動車をはじめとするモビリティ、建設機械や農業機械、産業用ロボット、エネルギー・プラント関連、家電、ヘルスケア機器など、あらゆる産業分野に技術・製品を提供しています。

リリースに関するお問い合わせ

NOK Group 株式会社 コーポレートアフェアーズ・コーポレートコミュニケーションズ

TEL : 03 - 5405 - 6372 Mail : mb_nok_corporate_affairs@jp.nokgrp.com

■ NOKグループについて

NOKグループは「Essential Core Manufacturing — 社会に不可欠な中心領域を担うモノづくり」を通じて、豊かな社会の根幹となる「安全」と「快適」を支えています。

当グループは、NOK 株式会社、イーグル工業株式会社、メクテック株式会社、ユニマテック株式会社、NOK クリューバー株式会社の5社を中核とする 111 社で構成されています。各社が持つ独自の技術と製品を掛け合わせたグループの総合力により、積み重ねた基礎研究に基づく「製品開発」、高品質での「大量・安定生産」と高度な個別ニーズに応える「最適なソリューションの提供」を実現します。

現在、20 の国と地域に所在する約 43,000 人で、自動車をはじめとするモビリティから、スマートフォンや PC などの電子機器、船舶、航空・宇宙領域、エネルギー分野、半導体関連、ヘルスケア機器、産業用ロボットまで、世界中のあらゆる産業に技術・製品を提供し続けます。